

ふれあい新聞

(36号) 平成7年10月1日 (田中野田町内会)



夏まつり感謝

夏まつり実行委員長 卯善 剛

秋本番を感じる今日この頃です。町内の皆様方には益々ご清栄のことと存じます。

さて、去る8月の夏まつりには、大変な酷暑の中準備、段取り、本番と町内皆様方のご協力を頂きまして、大成功だったように思いから感謝いたしております。本当にお世話になりました。

私自身、田中野田というまちが大好きです。いろんな行事、催しもの子ども会等何を取り上げても、町内の皆様の協力なしでは出来ないことばかりです。それをみんなでよく切磋琢磨して、何時も成功してきているように思われます。田中野田町内が、明日のある助け合うまち、きれいなまち、楽しいまちとなり、いつまでも明るく住みよい地域であってほしいと願う次第です。

最後になりましたが、夏まつりには町内皆様の心温まるご支援、ご芳志を頂き本当に有り難うございました。実行委員に代わりまして重ねて厚くお礼を申し上げます。今後とも、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。実行委員長としてのお礼のご挨拶とさせていただきます。

〈児童作文〉 祭り太鼓

香山 翔

今年は昨年と少しちがって、パターンを三つに分けて、いろんなリズムを混ぜてつくっていった。毎年ほとんどのリズムが同じだったのに、今年はばらばらだったから、合わせるのに時間がかかった。

新しく入った人が4人いたけど、4人がよく覚えたから、早く練習ができるようになってきた。最初はほとんど成功しなかったのに、最後の方ではきちんと合うようになってきた。今年も例年どおり水泳記録会が途中にあったりしたけれど、そういうことはほとんど関係なしにやっていた。

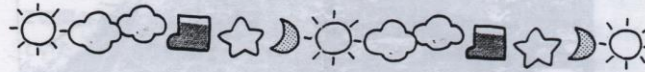
本番前夜はうまくできたようだった。本番の日は少し間違えたけれど大人の人達が一番うまくできたといってくれたのでうれしかった。

〈児童作文〉 銭太鼓の思い出

萩野有宇子

私にとって今年の銭太鼓は、3年間という期間のなかでの最後の年でした。だから私は6年生として、堂々と銭太鼓をしようと思いました。でもいざ舞台の上になると、やっぱり緊張してしまいました。曲が始まってから、途中で銭太鼓を落とすこともあったけど、私は気にせずに打ち続けました。あんなに緊張していた私が、自然に打っていたことに気づきとても驚きました。

私は、今年の銭太鼓が最後の年にふさわしいものになったと思います。



グループホーム 「コスモス」

田中野田の辰巳西公園西側(西村ビル西)に赤い屋根の建物が出ています。11月には完成し、年内には入居の予定と聞いています。この建物につき建築主である光南病院に説明をお願いしました。

グループホームとは

近年、高齢化が進むにつれ、高齢者の精神障害(老年性痴呆)が大きな問題になると言われています。

痴呆に対しては、これといった薬もなく、注射による治療も不可能で高齢とともに症状も進行してくることは避けられません。したがって、痴呆が進行してきますと、家庭での看護が困難になってきます。

現在このような施設としては、精神病院、老人保険施設(特に痴呆専門棟)、老人病院、特別養護老人ホームがあげられます。

しかし、痴呆の高齢者の場合、認知能力(今自分がどこにいるか、あるいは今何月何日かという見当識と、記憶力)の障害が主体ですから、認知能力の低下した高齢者にとって、大勢の患者とスタッフのいる状態、また居住の環境に対しても家庭とは著しく異なる大きな施設は適切とは言えません。

痴呆を持った高齢者に対して、小人数で家庭的な環境が最も大切なことです。この方法として、「グループホーム」という考えが生まれてきました。

グループホームでは、小人数のため、身の回りの調度品・部屋などを適切な環境に整え、入居者のプライバシーを保ち(個室)、尊厳と選択の権利を尊重し、痴呆老人にとって大切な、なじみの関係・なじみの環境を維持し入居者の経歴、個性、趣味に合わせたお世話ができます。

そして、料理、洗濯、掃除などを一緒に手伝ってもらい、共同生活を通して24時間接触することができるため、痴呆老人の残存能力を高めていくこと(リアリティー・オリエンテーション)ができ、痴呆の治療に最も効果的と言えます。

痴呆を持った高齢者も、適切な環境、訓練された専門スタッフ、家族の協力があれば、普通に暮らせることは不可能ではありません。

私達は、痴呆を持った高齢者や、痴呆をかかえた家族が人間性を失うことなく、入居者の「尊厳」と「選択の自由」を尊重し、安全で安心して暮らせるように、お手伝いして行きたいと考えています。

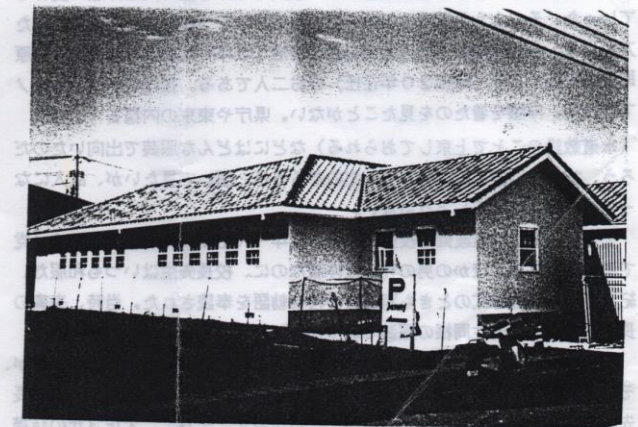
田中野田の方々へのお願い

私達は、地域の方々とのふれあいを大切にしていきたいと考えています。そこで、ご近所の高齢者の方々など、気軽に遊びに来て頂ければ嬉しく思います。また、グループホームの入居者を見かけましたら、気軽に声をかけて下さい。

グループホームでは、入居者の食事、掃除、洗濯など入居者にして頂きます。グループホームに関心のある方、時間に余裕のある方のお手伝いをお願いしたいと思っております。

また、高齢者を抱えているご家庭で、何か心配なことや、不安なこと悩んでいることがありましたらどうぞ相談ください。皆様のお役に立てばと思っています。

最後に、今現在グループホームへの公的補助はありません。公的援助が得られるように、グループホームの位置づけを確立していくためにも地域の方々のご理解とご協力を頂くことが、不可欠であると考えております。



グループホーム「コスモス」